

台風10号における鳴子ダムの洪水調節結果（速報）

◇8月30日の台風10号において、鳴子ダム流域では降り始めから（平成28年8月28日～30日）の3日間で、総雨量125mm、1時間の最大雨量16mm（共に流域平均値）の降雨となりました。

◇鳴子ダムでは、最大約174m³/秒の洪水を貯留（総量で東京ドーム約2杯分）し、ダム下流の江合川の荒雄地点では、洪水調節により約48cm水位低下させ大崎市の洪水被害防止に努めました。

■鳴子ダムの防災操作（洪水量250m³/秒）

今回の出水では、約2時間洪水調節を実施しました。

- ・洪水調節開始：8月30日17：50
- ・洪水量の最大：8月30日19：00
- ・洪水調節終了：8月30日19：50

■鳴子ダムの体制

- ・注意体制：8月30日11：00
- ・警戒体制：8月30日17：20
- ・注意体制：8月30日20：50
- ・体制解除：8月31日 0：30

■9月1日現在、ダムから放流中です。

下流河川の水位について十分に注意願います。

※雨量等の数値については、今後の精査により変更される場合があります。

《 鳴子ダムホームページ<http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/> 》

【発表記者會】古川記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所

所 長 すがわら 菅原 ひろひこ 裕彦

専門官 ふくし 福士 たかよし 高義

宮城県大崎市鳴子温泉字岩淵2-8

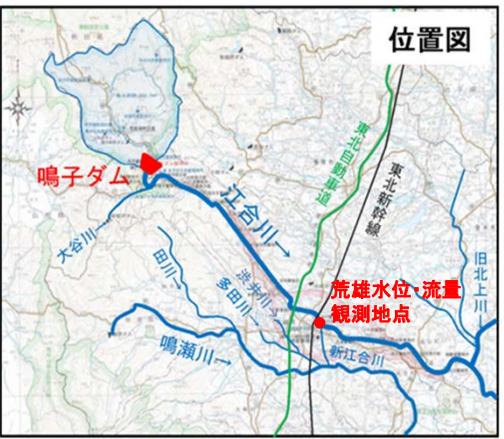
TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855

下流の水位約48cm低下させ市街地を洪水の被害から救った「鳴子ダム」

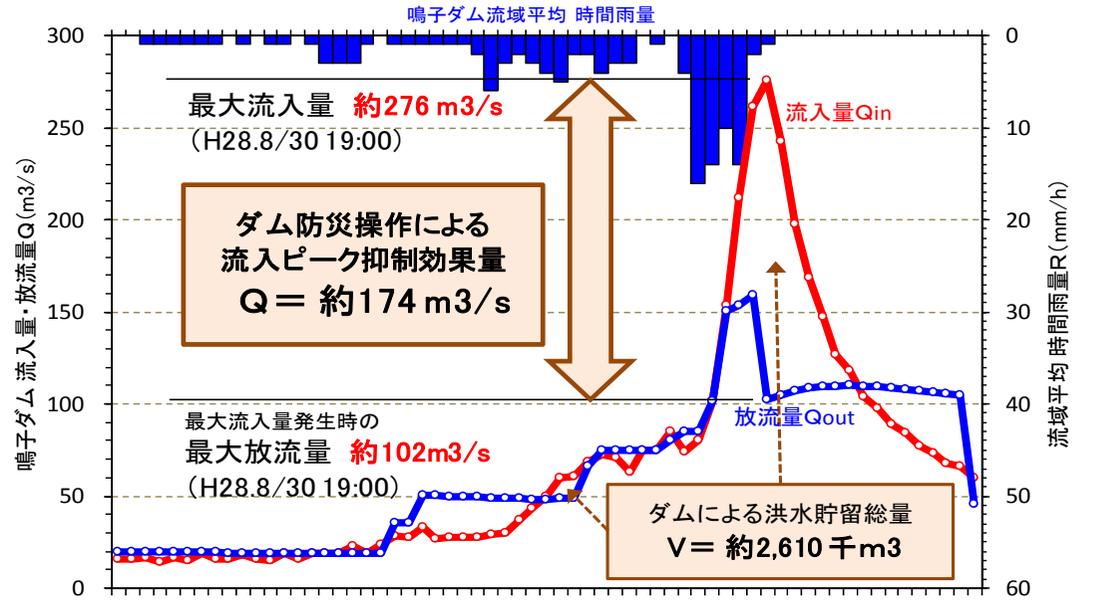
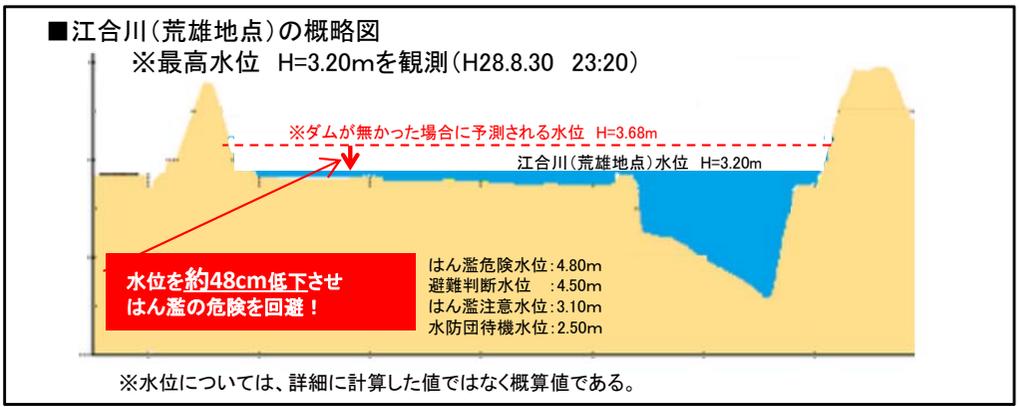
- 北上川水系江合川にある鳴子ダムでは、最大約174m³/秒の洪水を貯留し、下流水位の低減に努めました。
- 貯留総量は約261万m³で東京ドーム約2杯分※の水をダム湖に貯めました。(※124万m³として計算)
- ダム下流の荒雄地点では、洪水調節により約48cm水位低下させたものと思われ、宮城県大崎市 江合川沿川市街地の洪水被害の防止に努めました。

【洪水の概要と防災操作】

・鳴子ダム流域では、台風10号発生に伴い、降り始めから(平成28年8月28日～30日)3日間で、総雨量125mm、1時間の最大雨量16mm(共に流域平均値)の降雨が発生しました。



- ### ＜鳴子ダムの体制＞
- ・30日11:00 注意体制
 - ・30日17:20 警戒体制
 - ・30日20:50 注意体制
 - ・31日 0:30 体制解除
- ### ＜防災操作＞
- ・洪水調節開始:30日17:50
 - ・流入量の最大:30日19:00
 - ・洪水調節終了:30日19:50



(注意事項)今回発表されている観測値等は速報値であり今後の精査により変更される場合があります。